

- 1月**
- 『大日本帝国の銀河1』林譲治（ハヤカワ文庫JA）
 - 『短編宇宙』集英社文庫編集部編（集英社文庫）
 - 『エゴに捧げるトリック』矢庭優日（ハヤカワ文庫JA）
 - 『星になりたかった君と』遊歩新夢（実業之日本社）
 - 『擬傷の鳥はつかまらない』荻堂顕（新潮社）
 - 『ゴールデンタイムの消費期限』斜線堂有紀（祥伝社）
 - 『あと十五秒で死ぬ』榊林銘（東京創元社）
 - 『幻の女ーミステリ短篇傑作選』田中小実昌／日下三蔵編（ちくま文庫）
 - 『5分で読書 驚愕のミライ』カドカワ読書タイム編（KADOKAWA）
 - 『絶体絶命ラジオスター』志賀晃（毎日文庫）
 - 『ヘーゼルの密書』上田早夕里（光文社）
 - 『アクティブイター』沖方丁（集英社）
- 2月**
- 『庶務省総務局KISS室 政策白書』はやせこう（ハヤカワ文庫JA）
 - 『ALTDEUS:Beyond Chronos Decoding the Erudite』（ハヤカワ文庫JA）
 - 『蒸気と錬金』花田一三六（ハヤカワ文庫JA）
 - 『統計外事態』芝村裕史（ハヤカワ文庫JA）
 - 『テスカトリボカ』佐藤究（KADOKAWA）
 - 『階層樹海』椎名誠（文藝春秋）
 - 『帝国の吊砲』佐々木譲（文藝春秋）
 - 『万象ふたたび』（惑星と口笛ブックス）
 - 『終わりつづけるぼくらのための』岩倉文也（星海社FICTIONS）
 - 『ジャックポット』筒井康隆（新潮文庫）
 - 『山の人魚と虚ろの王』山尾悠子（国書刊行会）
 - 『インナーアース』小森陽一（集英社文庫）
 - 『灰の劇場』恩田陸（河出書房新社）
 - 『Y田A子に世界は難しい』大澤めぐみ（光文社文庫）
 - 『記憶翻訳者 みなもとに還る』門田充宏（創元SF文庫）
 - 『馬疫』西灯里（光文社）
 - 『君が笑うまで死ぬのをやめない 雨城町デッドデッド』
佐藤悪糖（講談社タイガ）
 - 『筐底のエルピス7 継続の繋ぎ手』オキシタケヒコ（小学館ガガガ文庫）
 - 『Mガールズ』濱野京子（静山社）
 - 『ダムヤーク』佐川恭一（RANGAI文庫）
 - 『小隊』砂川文次（文藝春秋）
 - 『超短編！大どんでん返し』小学館文庫編集部編（小学館文庫）
 - 『ひきこもり図書館』頭木弘樹編（毎日新聞出版）
 - 『覚醒するシスターフード』（河出書房新社）
 - 『世界の終わりとヒマワリとゼファー』青海野灰（パレード）
- 3月**
- 『裏世界ピクニック6 Tは寺生まれのT』宮澤伊織（ハヤカワ文庫JA）
 - 『マルドゥック・アノニマス6』沖方丁（ハヤカワ文庫JA）
 - 『ショウリーグ』上田裕介（ハヤカワ文庫JA）
 - 『隸王戦記1 フルースィーヤの血盟』森山光太郎（ハヤカワ文庫JA）
 - 『小説 火の鳥 大地編』桜庭一樹（朝日新聞出版）
 - 『青い砂漠のエチカ』高島雄哉（星海社FICTIONS）
 - 『静かな終末』眉村卓／日下三蔵編（竹書房文庫）
 - 『迷子の龍は夜明けを待ちわびる』岸本惟（新潮社）
 - 『暗黒自治区』亀野仁（宝島社文庫）
 - 『クロウ・ブレイン』東一真（宝島社文庫）
 - 『死にたがりな少女の自殺を邪魔して、遊びにつれていく話。』
星火燎原（宝島社文庫）
 - 『君の心を読ませて』浜口倫太郎（実業之日本社）
 - 『非日常の謎 ミステリアンソロジー』（講談社タイガ）
 - 『前夜』森晶磨（光文社）
 - 『ユア・フォルマ 電索官エチカと機械仕掛けの相棒』
菊石まれほ（電撃文庫）
 - 『Day to Day』講談社編（講談社）
 - 『レッドサンブラッククロス全短篇』佐藤大輔（中央公論新社）
- 4月**
- 『ポストコロナのSF』日本SF作家クラブ編（ハヤカワ文庫JA）
 - 『NOVA 2021年夏号』大森望編（河出文庫）
 - 『大日本帝国の銀河2』林譲治（ハヤカワ文庫JA）
 - 『クレインファクトリー』三島浩司（徳間文庫）
 - 『白鯨 MOBY-DICK』夢枕獏（KADOKAWA）
 - 『われらの世紀 真藤順丈作品集』真藤順丈（光文社）
 - 『われら滅亡地球学クラブ』向井湘吾（幻冬舎文庫）
 - 『人類滅亡フラグがたちました！ぼくらが決める七つの未来』
令丈ヒロ子（PHP研究所）
 - 『木星で春を待つ鬼』箱守瑞紀（KADOKAWA）
 - 『アンデッドガール・マダーファルス3』青崎有吾（講談社タイガ）
 - 『麻倉玲一は信頼できない語り手』太田忠司（徳間文庫）
 - 『大聖神』横田順彌／日下三蔵編（竹書房文庫）
 - 『『新青年』名作コレクション』『新青年』研究会編（ちくま文庫）
- 5月**
- 『空よりも速く、のびやかに』川端裕人（集英社文庫）
 - 『本心』平野啓一郎（文藝春秋）
 - 『ファウンテンブルーの魔人たち』白石一文（新潮社）
 - 『レオノーラの卵 日高トモキチ小説集』日高トモキチ（光文社）
 - 『精密と凶暴』関俊介（光文社）
 - 『感染捜査』吉川英梨（光文社）
 - 『植物忌』星野智幸（朝日新聞出版）
 - 『ミステリー・オーバードーズ』白井智之（光文社）
 - 『時間色のリリィ』朱川湊人（偕成社）
- 6月**
- 『日本SFの臨界点 中井紀夫 山の上の交響楽』
伴名練編（ハヤカワ文庫JA）
 - 『フェイス・ゼロ』山田正紀／日下三蔵編（竹書房文庫）
 - 『ヒトコブラクダ層ぜっと』万城目学（幻冬舎）
 - 『山猫サリーの歌』野田昌宏（扶桑社）
 - 『彼岸花が咲く島』李琴峰（文藝春秋）
 - 『あなたにオススメの』本谷有希子（講談社）
 - 『夕暮れの草の冠 kaze no tanbun』西崎憲編（柏書房）
 - 『voyage 想像見聞録』宮内悠介ほか（講談社）
 - 『JAGAE 織田信長伝奇行』夢枕獏（祥伝社）
 - 『緊急事態下の物語』尾崎世界観ほか（河出書房新社）
 - 『異形コレクションLI 秘密』井上雅彦編（光文社文庫）
 - 『一千一ギガ物語』藤井青銅（猿江商會）
 - 『還らざる聖域』樋口明雄（角川春樹事務所）
 - 『まほろばの鳥居をくぐる者は』芦原瑞祥（KADOKAWA）
 - 『パンダより恋が苦手な私たち』瀬那和章（講談社）
 - 『ヒーローはイエスマン』羽泉伊織（集英社文庫）
 - 『四元館の殺人 探偵AIのリアル・ディーブラーニング』
早坂吝（新潮文庫）
 - 『カンブリア 警視庁「背理犯罪」捜査係2 傀儡の章』
河合莞爾（中公文庫）
 - 『医学のつばさ』海堂尊（KADOKAWA）
 - 『ポーンヤードは語らない』市川憂人（東京創元社）
 - 『レゾンデートルの祈り』樫一志（KADOKAWA）
 - 『横溝正史少年小説コレクション1 怪獣男爵』日下三蔵編（柏書房）
 - 『眉村卓の異世界通信』『眉村卓の異世界通信』刊行委員会

- 7月
- 『まぜるな危険』高野史緒（早川書房）
 - 『感応グラン＝ギニョル』空木春宵（東京創元社）
 - 『日本SFの臨界点 新城カズマ 月を買った御婦人』
伴名練編（ハヤカワ文庫JA）
 - 『大日本帝国の銀河3』林譲治（ハヤカワ文庫JA）
 - 『貝に続く場所にて』石沢麻依（講談社）
 - 『Butterfly World 最後の六日間』岡崎琢磨（双葉社）
 - 『ミラーワールド』椰月美智子（KADOKAWA）
 - 『亜ノ国へ 水と竜の娘たち』柏葉幸子（KADOKAWA）
 - 『スーパーエンジェル』島田雅彦（講談社）
 - 『征服少女～AXIS girls～』古野まほろ（光文社）
 - 『シンデレラ城の殺人』紺野天龍（小学館）
 - 『兇人邸の殺人』今村昌弘（東京創元社）
 - 『闇に用いる力学』竹本健治（光文社）
 - 『道化むさぼる揚羽の夢の』金子薫（新潮社）
 - 『高原英理恐怖譚集成』高原英理（国書刊行会）

- 8月
- 『日本SFの臨界点 石黒達昌 冬至草／雪女』
伴名練（ハヤカワ文庫JA）
 - 『存在しない時間の中で』山田宗樹（角川春樹事務所）
 - 『機龍警察 白骨街道』月村了衛（早川書房）
 - 『真藤順文リクエスト！ 絶滅のアンソロジー』（光文社）
 - 『隸王戦記2 カイクバードの裁定』
森山光太郎（ハヤカワ文庫JA）
 - 『ホワイトバグ 生存不能』安生正（宝島社）
 - 『死者にこそふさわしいその場所』吉村萬壽（文藝春秋）
 - 『川のほとりで羽化するぼくら』綾瀬まる（KADOKAWA）
 - 『エチュード春一番 第三曲 幻想組曲 [狼]』
荻原規子（角川文庫）
 - 『時空犯』潮谷駿（講談社）
 - 『人類最初の殺人』上田未来（双葉社）
 - 『ゴースト・ポリス・ストーリー』横関大（講談社）
 - 『推理大戦』似鳥鶯（講談社）

- 9月
- 『再着装の記憶——〈エクリプス・フェイズ〉アンソロジー』
岡和田晃編（アトリエサード）
 - 『播磨国妖綺譚』上田早夕里（文藝春秋）
 - 『蒼衣の末姫』門田充宏（創元推理文庫）
 - 『八月のくず 平山夢明短編集』平山夢明（光文社）
 - 『カミサマはそういない』深緑野分（集英社）
 - 『あやとり巨人旅行記』稲葉祥子（鳥影社）
 - 『2022年地軸大変動』松本徹三（早川書房）
 - 『ジュリアン・パトラーの真実の生涯』川本直（河出書房新社）
 - 『その日、絵空事の君を描く』音無白野（ハヤカワ文庫JA）
 - 『君の顔では泣けない』君嶋彼方（KADOKAWA）
 - 『7年』こがらし和音（KADOKAWA）
 - 『ひとりぼっちのソユーズ』七瀬夏扉（主婦の友社）
 - 『開城賭博』山田正紀（光文社）
 - 『楽園のアダム』周木律（講談社）
 - 『老虎残夢』桃野雅派（講談社）
 - 『誰も死なないミステリーを君に 眠り姫と五人の容疑者』
井上悠宇（ハヤカワ文庫JA）
 - 『須永朝彦小説選』山尾悠子編（ちくま文庫）
 - 『GIGANTIS volume1 Birth』小森陽一（集英社文庫）
 - 『ひとつ宇宙の下』成田名璃子（朝日新聞）
 - 『子供は怖い夢を見る』宇佐美まこと（KADOKAWA）
 - 『宇宙戦艦ヤマト 黎明篇 アクエリアス・アルゴリズム』
高島雄哉（KADOKAWA）

- 10月
- 『異常論文』樋口恭介編（ハヤカワ文庫JA）
 - 『GENESIS 時間飼ってみた』（東京創元社）
 - 『ペッパーズ・ゴースト』伊坂幸太郎（朝日新聞社出版）
 - 『大日本帝国の銀河4』林譲治（ハヤカワ文庫JA）
 - 『アーサー・マンデヴィルの不合理な冒険』宮田珠己（大福書林）
 - 『畏れ入谷の彼女の柘榴』舞城王太郎（講談社）
 - 『二億の果実』宮内勝典（河出書房新社）
 - 『SIP 超知能警察』山之口洋（双葉社）
 - 『失われた岬』篠田節子（KADOKAWA）
 - 『人間レベル』橋本ツカサ（KADOKAWA）
 - 『畏れ入谷の彼女の柘榴』舞城王太郎（講談社）
 - 『アイの歌声を聴かせて』原作：吉浦康裕、
著：乙野四文字（講談社タイガ）
 - 『サマーゴースト』原案：IouDraw、著：乙一（集英社）
 - 『ハイスクール・オーラバスター・リファインド 最果てに訣す
the world』若木未生（トクマ・ノベルズ）
 - 『君と過ごした透明な時間』丸井とまと（メディアワークス文庫）
 - 『逡巡の二十秒と悔恨の二十年』小林泰三（角川ホラー文庫）
 - 『虚魚』新名智（KADOKAWA）
 - 『救国ゲーム』結城真一郎（新潮社）
 - 『ポリフォニック・イリュージョン 飛浩隆初期作品集』飛浩隆（河出文庫）
 - 『小松左京21世紀セレクション1 見知らぬ明日/アメリカの壁』
小松左京（徳間文庫）
 - 『公共査査機構〈新装版〉』かんべむさし（徳間文庫）
 - 『山田正紀・超絶ミステリコレクション#1 妖鳥』山田正紀（徳間文庫）

- 11月
- 『残月記』小田雅久仁（双葉社）
 - 『ベストSF2021』大森望編（竹書房文庫）
 - 『ものがたりの賊』真藤順文（文藝春秋）
 - 『あなたのための時空のはざま』矢崎存美（ハルキ文庫）
 - 『ババララレレル』最果タヒ（河出書房新社）
 - 『博多さっぱそうらん記』三崎亜記（KADOKAWA）
 - 『信長鉄道』豊田巧（ハルキ文庫）
 - 『かぐや姫、物語を書きかえろ！』雀野日名子（河出書房新社）
 - 『不村家奇譚 一ある憑きも一族の年代記』彩藤アザミ（新潮社）
 - 『君の名前の横顔』河野裕（ポプラ社）
 - 『夜半獣』花村萬月（徳間書店）
 - 『異形コレクションLII 狩りの季節』井上雅彦監修（光文社文庫）
 - 『一ノ瀬ウナが浮いている』乙一（集英社）
 - 『AIアテナの犯罪捜査』越尾圭（宝島社文庫）
 - 『おはようおかえり』近藤史恵（PHP研究所）
 - 『塩の樹と森の人魚』塚本はつ歌（産業編集センター）
 - 『楽園の殺人』越尾圭（二見書房）
 - 『オール・アバウト・Z』川村毅（論創社）
 - 『ヴァーチャル霊能者K』西岡舜人（JUMP j BOOKS）
 - 『中島らも曼荼羅コレクション#1 白いメリーさん』中島らも（徳間文庫）

- 12月
- 『愚かな薔薇』恩田陸（徳間書店）
 - 『影絵の街にて』新井素子／日下三蔵編（竹書房文庫）
 - 『偽装同盟』佐々木譲（集英社）
 - 『裏世界ピクニック7 月の葬送』宮澤伊織（ハヤカワ文庫JA）
 - 『非接触の恋愛事情』短編プロジェクト編（集英社文庫）
 - 『生を祝う』李琴峰（朝日新聞出版）
 - 『王子失踪す』山上たつひこ（新潮社）
 - 『さもなくば黙れ』平山瑞穂（論創社）
 - 『日々をのきのこ』高原英理（河出書房新社）